

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 北方 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できていることが望ましい知識・技能等 ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の6年生については、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	学年別漢字配当表に示されている漢字や送り仮名に注意して文の中で正しく使うことができている。一方で、目的や意図に応じ、話の内容を捉え話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめるなど、自分の考えを書くことを苦手としている傾向が見られる。
	よくできた問題	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題
	努力が必要な問題	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる問題
算数	全体的な傾向や特徴など	比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いる問題はできている。その一方で、正三角形の意味や性質、割合、分配法則の計算の仕方など知識として定着していないため問題を解くことができない傾向がある。
	よくできた問題	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取る比例の問題
	努力が必要な問題	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる問題

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
・読書が好きな児童は全校平均を上回っているが、読書の時間は全国平均を下回っている。読書好きが多いのは家庭教育や朝の読み聞かせ、移動図書館、読書週間などの取組の成果だと考えられるので、図書の時間を中心とした時間の確保と学校図書の一層の充実を図りたい。また、朝の読み聞かせの時間や授業の隙間時間など読書の時間を確保したい。 ・「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」が全国平均と比べて大きく上回っている。学校全体でICT教育を推進している結果が表れている。 ・「学校が休みの日の学習時間」は全国平均と同程度であったが、「平日の学校での授業時間以外の学習時間」が全国平均と比べて下回っている。学習内容など計画を立てる力を育てつつ、学校と家庭が協力しながら学習時間を確保する取組が必要となる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

国語科では、自分の考えをまとめて書く学習のときに「短文で書いてみる」「型に当てはめて書いてみる」「友達が書いたものを参考にする」など、スモールステップを設定し、学びが積み重なるようにする。

算数科では、スモールステップでの学びに加え、少人数指導や個別指導、習熟度別の指導を積極的に導入する等、個に応じた指導を充実させていく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

学校教育目標の実現に向けて取り組んでいる方策について、学校だよりやホームページ等で情報を発信しながら、保護者の理解と協力を求めていく。特に、学習習慣についての取組は全児童の保護者へアンケートをとり、「学び続ける力」の育成について、学習部を中心に改善の方策を考え、実践していく。